

# 新米は全量1等米

## 静内産米初出荷 出来まらずまらず



【新ひだか】静内産の新J-Aしずない無類米検査38.8%の「ななつぼし」だが、ますますの出来米が29日、初出荷され、場で品質検査を受けた。



「静内産米の今年の作付けは34戸、1,000坪。は天候不順で心配している。付けは34戸、1,000坪。

今年はずの低温や7月の高温、その後は気温が再び下がったことなどから双葉は早半量を減らしていたが、収穫直前の台風で穂の倒伏が目立つことから、今後の収穫が心配されている。全量の約割の二つとなるタンパク質は低めが長く、今年はず干低めの傾向だ。

初出荷は、静内稲作振興会を主催する静内無類の村田朝治さん生産者。米を抜き取り、形や色、タンパク質の含有量などを検査した結果、全量1等品質調査のため米を出品する検査員(左)と農上(右)とが確認している。

米の格付けとなり、しずない無類の西村和夫組合長から村田さんへ高品質が贈られた。

初検査に立ち会った村田さんは「全量1等米で安心して、台風の影響で収量や品質が気になってきた」と胸をなでおろし

「しずない無類では、静内産の「ななつぼし」のうち、化学肥料(チタン)を50%以下に低減するなど厳しい基準をクリアした高品質で良食味の米を農協ブランド米「万馬」に販売される。

西村組合長は「平年より」と話していた。

10月8日にJ-Aしずない前広場で開催するしずない無類まつりを皮切りに